

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和4年10月17日
枚方市立長尾小学校

文部科学省が今年4月に実施した、令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について、全国を基準とした経年推移等によって、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、児童の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

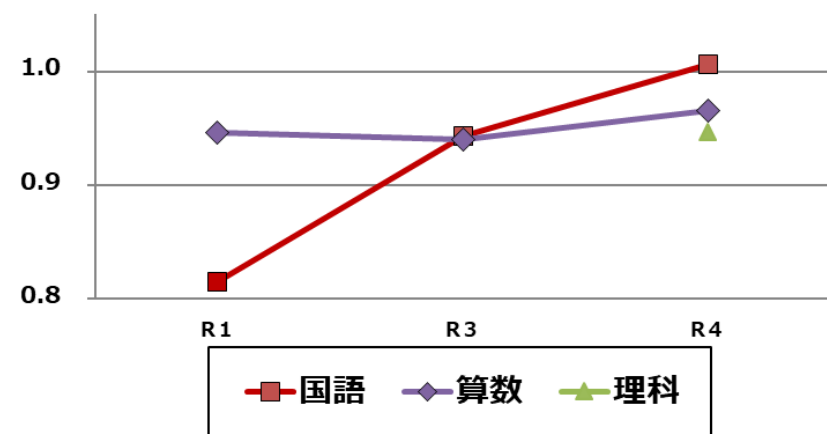
【全体概要】

学力調査の結果

学力調査結果の中から、本校と全国の経年比較(対全国比)をお知らせします。

※調査結果について
教科や出題範囲が限られていることから、
全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部です。

(全国の平均正答率を1とした経年比較)



※令和2年度は中止のため、掲載していません。また、理科は令和元年、令和3年度、未実施の為、掲載していません。

<学力調査結果の概要>

○国語について

→全国の平均正答率を上回りました。「知識及び技能」の「言葉の特徴や使い方」はやや高く、「言語文化」についてはやや低めの結果です。また、「思考・判断・表現」の「話すこと・聞くこと」「読むこと」はやや低く、「書くこと」については、高めの結果となりました。

○算数について

→全国の平均正答率と比べ、若干低くなっています。領域別では、「数と計算」の分野では正答率が低く、「データの活用」の分野で正答率が高く出しています。問題の形式で見ると、答えに至った理由等を書き表す「記述式問題」の正答率が低く出しています。

○理科について

→全国の平均正答率と比べ、若干低くなっています。領域別では、「生命」「地球」「粒子」の領域では正答率が低く、「エネルギー」の領域は全国平均とほぼ同等の結果が出ています。問題の形式で見ると、答えにあたる内容を書き表す「記述式問題」の正答率が低く出しています。

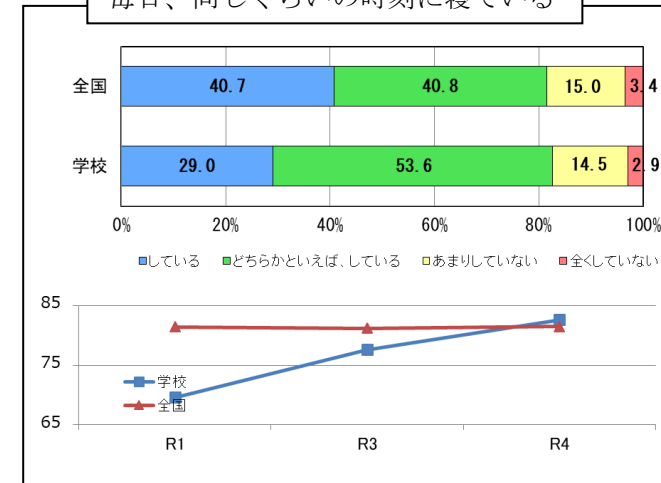
質問紙調査の結果

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

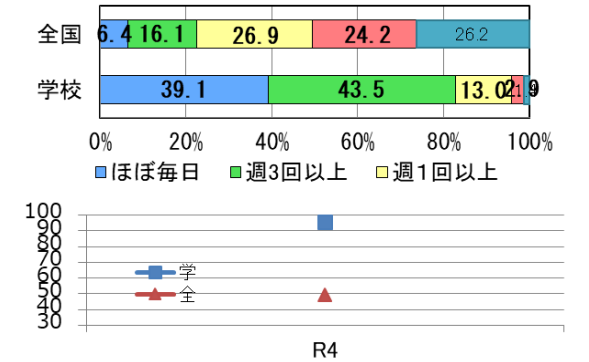
質問紙調査結果の中から、主な項目について、本校と全国の経年比較をお知らせします。



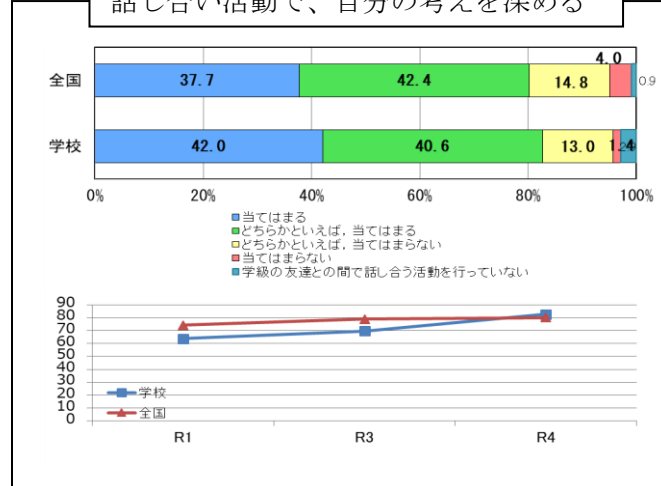
毎日、同じくらいの時刻に寝ている



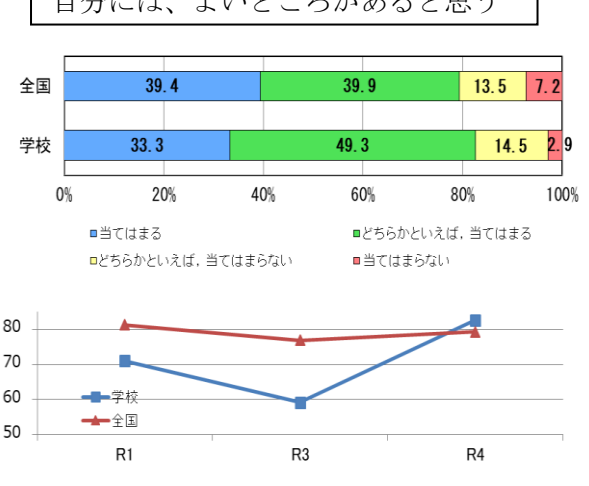
授業の意見交換で、タブレットを使う
※週一回以上使う割合



話し合い活動で、自分の考えを深める



自分には、よいところがあると思う



<質問紙調査結果の概要>

- 生活習慣・・・就寝時刻が一定である児童の割合は年々上昇し、80%を超えています。また、グラフはありませんが、朝食を食べて登校する児童の割合も90%を超えています。
- 授業・・・「話し合いの活動を通して、自らの考えを深める」割合は年々上昇し、本年度は80%を超えました。また、「授業の意見交換でタブレットを使う」割合は、全国と比べて高く出しています。
- 自尊感情・・・「自分には、よいところがあると思う」の割合は大きく上昇し、全国を上回りました。

★まとめ 学力調査の結果は、国語・算数ともに前年を上回りました。特に国語は、全国平均を上回っています。今後も、基礎基本を押さえつつ、タブレット等ICT機器を有効活用し、「ともに学ぶ」活動を多く取り入れながら、「主体的・対話的で深い学び」を実践してまいります。また、学校生活のあらゆる機会を通して、自尊感情を高める取り組みを進めてまいります。

※次ページ以降に、「各教科に関する調査」「質問紙調査」における詳細な結果について公表しております。

【詳細について】

教科に関する調査

<国語>

成果や課題があった設問

【成果】 文章全体の構成や書き表し方を考える

3 一島谷さんは、【文章2】の□の部分をもどのようなことに気をつけて書いていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 自分の考えが明確に伝わるように、自分の考えを最初に書いている。

2 自分の考えが明確に伝わるように、引用することで、書き出しをくふうしている。

3 他の人が読みやすいように、事実と感想とを区別して、書き出しを書いている。

4 他の人が読みやすいように、自分の考えとその理由を最初に書いている。

	正答率	無解答率
本校	68.3	4.8
全国	59.2	2.5

(考察) 推敲し書き直した文章について、その構成や書き表し方を考え、そのことを正確にとらえられているかを問う問題です。

高学年においては、文章全体を見た時に、事実と感想、意見とが区別して書かれているか等を観点として推敲する必要がありますが、この設問では推敲後のはじめの段落が「意見」の記述であることを多くの児童が正確にとらえています。

【正答】 1

【課題】 表現の効果を考えることができる

2. 三同じ学級の山村さんも、「銀色の幻想」を読み、せいせんする文章を書いています。次の【山村さんの文章】のBの中に入る内容として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 色の表現を使い、季節が変わったことを印象づけている。

2 「ぼく」が体験した信じられないような出来事を印象づけている。

3 空と風を表す表現を使い、「ぼく」が宇宙に行った不思議さを印象づけている。

4 「ぼく」が過去から現在にもどってきた安心感を印象づけている。

	正答率	無解答率
本校	46.0	1.6
全国	59.2	3.2

(考察) 物語最後の一文の表す効果を考える問題です。表現の効果をとらえるには、想像した人物像や全体像と関わらせながら、当該表現が何を強調しているのか、象徴しているのかを考えていかなければなりません。

この設問の物語は、主人公の不思議な体験を軸に展開します。そのことから、3の誤答が3割弱ありました。(3は部分的に話に合わない記述があります。)

【正答】 2

<算数>

成果や課題があった設問

【成果】

加法・乗法の混合計算の一定規則を他に応用、説明する

3 (4)「交流会の遊びの決め方」の問題。部分抜粋。

1年生の希望を1人につき10ポイント、6年生の希望を1人につき5ポイントとして計算し、1年生と6年生のポイント数の合計で遊びを決めることにしました。そこで、下の表を見直しました。

		希望する遊び (交流会)					(人)
遊び 学年	輪投げ	かくれんぼ	なぞなぞ	縄とび	紙飛行機	合計	
1年	15	14	10	7	4	50	
6年	4	8	10	18	7	47	

【あかりさんの求め方】

輪投げを希望している人数は、1年生が15人、6年生が4人なので、輪投げのポイント数は、 $10 \times 15 + 5 \times 4 = 170$ で、170ポイントです。

【あかりさんの求め方】をもとにして、かくれんぼのポイント数を求めると、何ポイントになりますか。

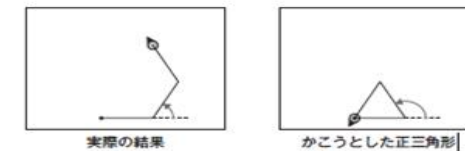
1年生と6年生のそれぞれのポイント数の求め方がわかるようにして、かくれんぼのポイント数の求め方を式や言葉を使って書きましよう。また、答えも書きましよう。

正三角形の性質に着目し、示された作図の手順で三角形をかく

【課題】

4 (1)「示された手順で正三角形をかく」問題。部分抜粋。

はなこさんは、下のかこうとした正三角形をかくことができませんでした。



そこで、つくったプログラムを見直すことにしました。

つくったプログラム

- ① 5 cmの直線を引く。
- ② 左に60°回転する。
- ③ 5 cmの直線を引く。
- ④ 左に60°回転する。
- ⑤ 5 cmの直線を引く。

5 cmの直線を引く。
左に60°回転する。
2種類の命令のうち、どちらかの命令を直すと、かこうとした正三角形ができますね。

かこうとした正三角形をかくには、どちらの命令を直すべきですか。下のアとイから選んで、その記号を書きましよう。また、その選んだ命令を、言葉と数を使って、正しい命令に書きましよう。

- ア 5 cmの直線を引く。
イ 左に60°回転する。

	正答率	無解答率
本校	71.4	6.3
全国	67.7	8.6

(考察)

学校生活の中で、経験するであろう問題です。一定の条件付けをし、四則混合の計算をすることが必要になります。

本設問は、具体的には、「あかりさんの求め方」を解釈し、表から必要な数値を読み取り、計算し、またその説明を行うといった作業が必要になります。

全国平均と比べ、正答率は高く出ています。

【正答例】 【求め方】かくれんぼを希望している人数は、1年生が14人、6年生が8人なので、かくれんぼのポイント数は、 $10 \times 14 + 5 \times 8 = 180$ で、180ポイントです。 【答え】180 (ポイント)

	正答率	無解答率
本校	39.7	4.8
全国	48.8	3.8

(考察)

本設問では、正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し言葉と数を用いて記述する必要があります。

通常の作図と違い、本設問のプログラムにそった角度のとらえが必要であり、正三角形の外角が120°であることに気づけていない誤りが多数見られました。

【正答】

(記号) イ

(正しい命令) (例) 左に120°回転する。

<理科>

成果や課題があった設問

【成果】

実験の過程や結果を適切に記録しているか

3(2)

【問題】
鏡ではね返した日光を重ねるほど、^{目的}的の温度は高くなるのか。

【予想】
はね返した日光を重ねるほど、明るくなるので、^{目的}的の温度も高くなると思う。

【方法】

①段ボールの板のすき間に温度計をさしこんだ^{目的}的を、4つつくる。
②かべに①の^{目的}的をはり、日光をあてる前の^{目的}的の温度をはかる。
③鏡ではね返した日光を^{目的}的にあて、3分後の^{目的}的の温度をはかる。

(2) 実験をしながら、【結果】を記録しました。【問題】を解決するために最も適切な記録はどれですか。下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1

【結果】 (はじめの^{目的}的の温度 23℃)

- ・鏡3枚のときが、どれよりも明るく、^{目的}的の温度が高かった。
- ・日光を重ねると、温度がとても上がったので、日光がすごいいと思った。

2

【結果】 (はじめの^{目的}的の温度 23℃)

鏡の枚数	3分後の ^{目的} 的の温度
0枚	23℃
1枚	32℃
2枚	40℃
3枚	51℃

※このあと、3と4の選択肢あり。

	正答率	無解答率
本校	79.4	0
全国	74.4	1.3

(考察) 実験の結果から、問題の解決に必要な情報が取り出しやすく整理された記録を選ぶことができるかを見る問題です。全国平均と比べ、5ポイント高い正答率となっています。

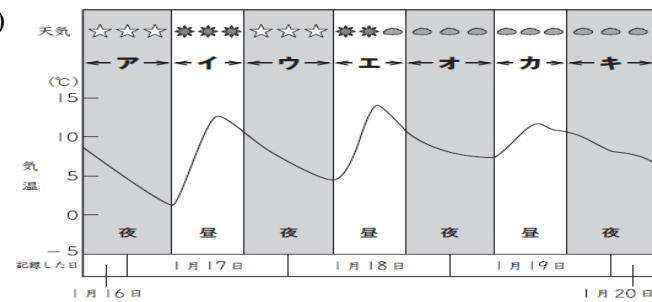
本設問では、「鏡の枚数と^{目的}的の温度」の関係をとらえた「2」を選択する必要があります。「1」は各枚数における温度の具体的な数値の記述がなく、「3」は「時間と温度の記録」が、「4」では「鏡の枚数と明るさの関係」が記述されていますので適切ではありません。(3.4の選択肢は省略)

授業の中で、どれだけ問いを意識しながら実験しているかが分かります。

正答 2

【課題】 観察などで得た結果を複数の視点で分析・解釈する

4(3)



天気 ☆…晴れ(夜) ☆…晴れ(昼) ☁…くもり(昼・夜)

(3) よしこさんは、【問題】「冬の夜の気温は、どのように変化するのか。」について、〈冬の数日間の天気と気温の変化〉からいえることを、次のようにまとめました。

【結果からいえること】

- ①冬の晴れた夜は、気温が下がる。
- ②冬のくもった夜は、気温が下がる。
- ③冬の晴れた夜の気温は、7℃くらい下がり、冬のくもった夜の気温は、3℃くらい下がる。

これらのことから、冬の夜の気温は、下がり続け、冬の晴れた夜は、冬のくもった夜よりも気温の変化が大きいいえる。

上の【結果からいえること】の①は、〈冬の数日間の天気と気温の変化〉のどの部分をもとに、まとめていますか。左の ア から キ までの中からすべて選んで、その記号を書きましょう。

	正答率	無解答率
本校	36.5	3.2
全国	45.5	6.5

(考察)

本設問は、冬の夜の気温の変化の仕方を対象として、「結果からいえること」は、提示された結果のどの部分を分析したものなのかについて問うものです。

「結果からいえること」を吟味し、資料(グラフ)を的確に読み取り、どの部分を解釈した結果であるのかをとらえる必要があります。

全国平均正答率は50%を切っています。本校は全国平均を9ポイント下回っています。

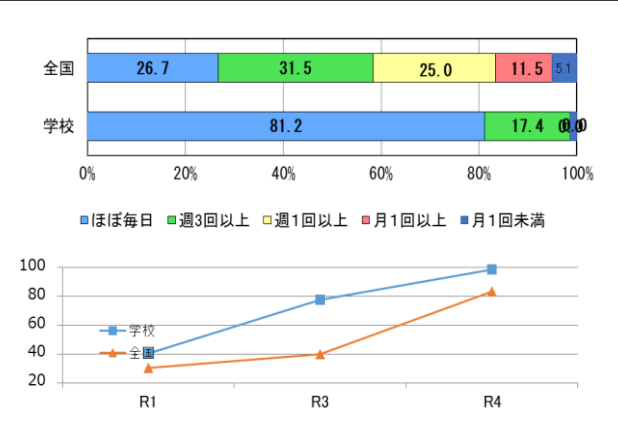
正答 ア、ウ ※「ア」「ウ」のいずれかでもよい。

質問紙に関する調査

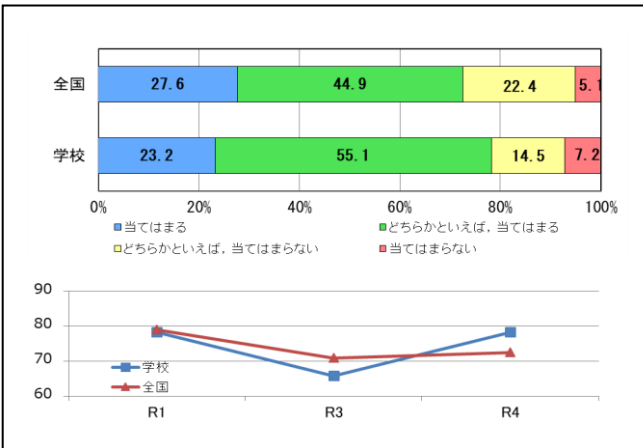
※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。
 ※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
 ※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

【成果のあった項目】

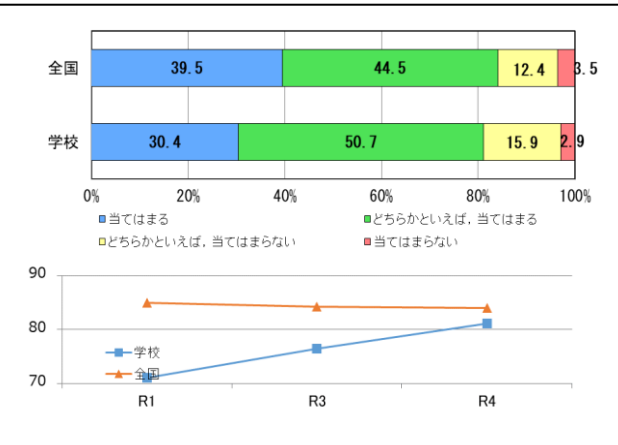
5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか(折れ線グラフは、週1回以上の割合です。)



難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している



国語の授業の内容はよく分かる



(考察)

<ICT機器の活用>

本校では、導入当初より、タブレットを授業の中で積極的に使用しており、その割合は、全国を大きく上回っています。

<物事に対する意欲>

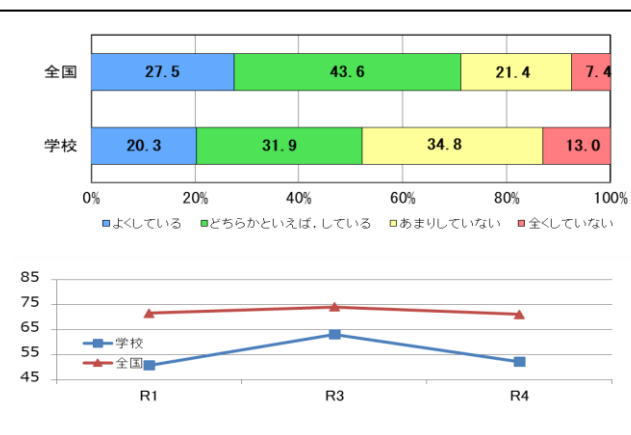
課題に取り組む姿勢は、意欲的です。これは、「自分には、よいところがあると思う」(1枚目に結果を掲載。)とともに上向いています。

<学習内容の理解>

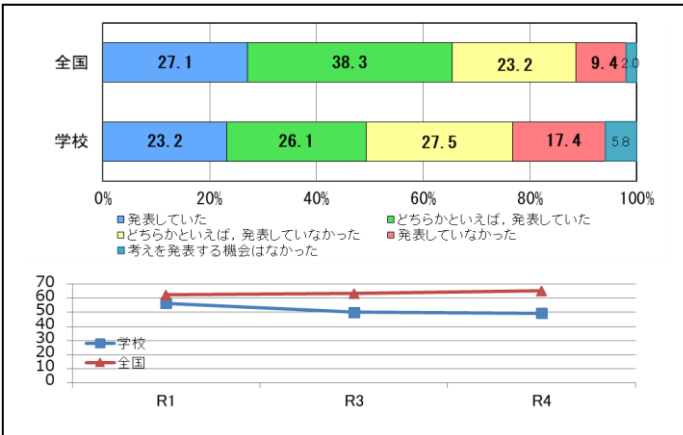
国語については、上昇傾向にあり、80%以上の児童が授業内容がよくわかると答えています。

【課題が残った項目】

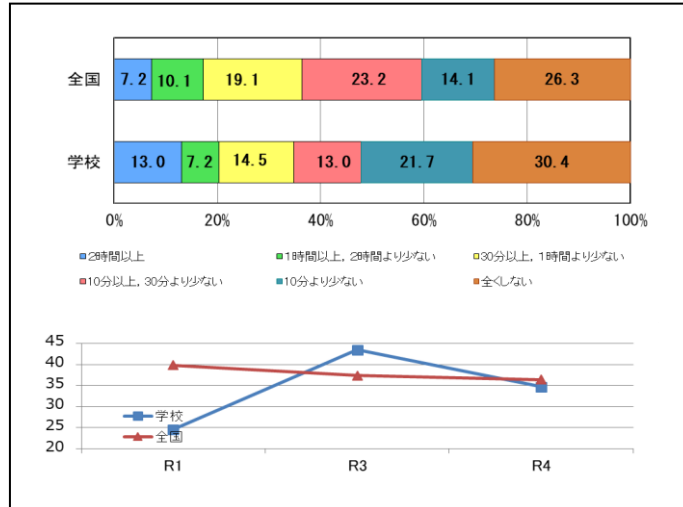
家で自分で計画を立てて勉強していますか



授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか



学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(折れ線グラフは30分以上の割合です。)



(考察)

<自学自習>

「家で自分で計画をして学習する」割合は、全国を大きく下回り、肯定的な回答は約50%でした。

<発表の工夫>

自らが理解したことを相手に分かりやすく伝えることは、コミュニケーションの基本です。また、プレゼンテーション能力は必要な技能です。「考えをうまく伝えるくふう」については、改善の余地があります。

<読書の時間>

授業時間以外に読書を30分以上行う児童の割合は40%に満たないものでした。別の質問「読書は好きですか」の肯定的な回答が約7割であったことを考えると、ゲームやスマートフォンなどの読書以外のものとの関連が考えられます。

★分析結果を踏まえ、今年度中に取り組んでいくこと★

(1) 授業改善について

この度の学力・学習状況調査では、国語・算数ともに学力の伸長が見られました。このことは、昨年度、児童が興味関心を持つ授業を展開したこと、また同時に主体的・対話的な学習を行ってきたことに起因すると思われます。(質問紙調査で、国語・算数・理科に対する児童の意識を見ると、算数・理科は好きな教科で授業もよくわかるという割合が全国平均と同等か上回っており、また国語では授業がよくわかるという割合が大きく伸びています。)

ただ以下のような課題も浮かび上がってきました。

国語・・・話題にそって「話し手が伝えたいこと」の中心をとらえる」「自らの考えを示すこと」が不得手であること。

算数・・・算数の基礎的な知識、また計算などの技能で、学習の不十分な分野があること。

理科・・・観察などで得た結果を、一定の視点で分析した後、「解釈する」ことが不十分であること。

このことから、各教科で基礎基本の徹底とともに、グループ学習等を展開し、「主体的・対話的で深い学び」を継続、弱点分野の克服を目指します。また、本校では、校内研究の主題を「ICTを効果的に活用し、子どもの資質・能力を育てる」とし、総合的な学習の時間の中でその研究を深めていますが、この研究を他教科にも応用し、また教科横断的な学習も展開させながら、児童の能力の伸長を図っていきます。

(2) 人権教育について

質問紙調査では「自分にはよいところがある」(肯定的評価 82.6%)「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」(同 100%)という結果が出ました。「自らの良さに気づき、他者を尊重する」意識が児童に根付いて来ています。今後も、教科 道徳の中で、また教育活動のあらゆる機会をとらえて、児童の人権意識の向上を図ってまいります。

(3) 自学自習力について

家庭学習は、学校での学習を補完するものです。小学生のうちから、自ら計画を立て、宿題以外に予習や復習等を行うという習慣をつけることは大切です。また、自ら計画を立て実行していく習慣は、勉強以外のあらゆる分野で役に立つものです。小学生のうちに、自学自習力(=計画し、実行する力)を身に付けられるようご家庭でもお声掛けいただければと思います。